

教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
農業	農業と環境	農業科学科	1年	2/4 (野菜分野)	農業と環境 (実教出版)	なし

<b>学習の到達目標</b>	<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活用する基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
----------------	---

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。	農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。	農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。
定期考査、確認テスト、観察など	定期考査、確認テスト、観察(授業、実習)、レポート課題など	観察(授業、実習)、提出物の内容など

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
4	学校農業クラブ活動 1 学校農業クラブ活動の目標 2 学校農業クラブの組織と活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校農業クラブ活動の目標や組織、活動の内容について理解する。</li> </ul>	○		
5 7	トマト栽培プロジェクト 1 うねたてと植え付け 2 誘引と整枝 3 着果とホルモン処理 4 果実の肥大と摘果 5 摘心 6 病虫害と防除 7 果実の成熟と収穫 8 プロジェクトのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本で栽培されている主な野菜の種類と形態を知り、利用部分による分類ができる。</li> <li>農業学習の特質とプロジェクト学習の方法を理解する。</li> <li>トマトの着果習性を知り、適切な植え付けができる。</li> <li>トマトの一本仕立ての方法を理解し、整枝と誘引ができる。</li> <li>受粉・受精と果実の着果、及びホルモン処理と単為結果について理解し、ホルモン処理が適切にできる。</li> <li>果実の肥大と栄養について理解し、1果房内の果実数と形状をみて、摘果が適切にできる。</li> <li>病徴や害虫の形状と発生条件を知り、防除の方法を理解する。</li> <li>果実の成熟過程について理解する。</li> <li>諸事を総合的に考えて、収穫の適期を判定できる。</li> <li>トマトの栽培プロジェクトに主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○	○	○
9 12	ダイコン栽培プロジェクト 1 栽培計画 2 栽培品種の特性 3 は種 4 うね立て、施肥 5 間引きと土寄せ 6 花芽分化ととう立ち 7 す入りと根部の異常 8 病虫害と防除 9 収穫	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題設定など、プロジェクト学習の具体的な内容を理解する。</li> <li>ダイコンの主な性質と作型や品種の特性を理解する。</li> <li>秋どり栽培(移植栽培)で、セルトレイを用いた育苗ができる。</li> <li>栽培に適するうね幅、株間を知り、うね立てができる。</li> <li>生育に必要な必須要素と肥料の役割、施肥の仕方を知り、生育にあわせた追肥ができる。</li> <li>根部の充実に対する異常について理解する。</li> <li>雑草が野菜の生育に及ぼす影響について理解する。</li> <li>病虫害の化学的防除のための薬剤の調製ができる。また、IPMの考え方を理解する。</li> <li>諸事を総合的に考えて、収穫期の適期を判定できる。</li> <li>ダイコンの栽培プロジェクトに主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○
1 3	私たちの暮らしと農業・農村 1 人間と植物・動物とのかわり 2 農業と食料供給 3 農業・農村の役割 4 これからの社会と農業・農村	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間と植物・動物のかわりについて理解するとともに、関連する技術を身につけている。</li> <li>人間と植物・動物とのかわりに関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決している。</li> <li>人間と植物・動物とのかわりについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> <li>農業と食料供給について理解するとともに、関連する技術を身につけている。</li> <li>農業と食料供給に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決している。</li> <li>農業と食料供給について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> <li>農業と農村について理解するとともに、関連する技術を身につけている。</li> <li>農業と農村に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決している。</li> <li>農業と農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> <li>これからの社会と農業・農村について理解するとともに、関連する技術を身につけている。</li> <li>これからの社会と農業・農村に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決している。</li> <li>これからの社会と農業・農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○

教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
農業	農業と環境	農業科学科	1年	2/4 (草花分野)	農業と環境 (実教出版)	なし

<b>学習の到達目標</b>	<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活用する基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
----------------	---

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。	農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。	農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。
定期考査、確認テスト、観察など	定期考査、確認テスト、観察(授業、実習)、レポート課題など	観察(授業、実習)、提出物の内容など

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
4	学校農業クラブ活動 1 学校農業クラブ活動の目標 2 学校農業クラブの組織と活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校農業クラブ活動の目標や組織、活動の内容について理解する。</li> </ul>	○		
5 6 7	1 栽培の準備 2 たねまき 3 生育中の管理と生育調査 4 収穫 5 プロジェクトのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>畑の準備が適切にできる。スイートコーンの栽培と利用</li> <li>種子の構造や発芽の条件やしきみを知る。</li> <li>たねまきが適切にできる。</li> <li>幼苗(根・葉)の生育の仕方がわかる。</li> <li>間引き、中耕、除草、追肥が適切にできる。</li> <li>雄穂・雌穂の部位や形態を知る。</li> <li>病害虫の種類がわかり防除ができる。</li> <li>雄穂、雌穂の開花の仕方を知る。</li> <li>受粉・受精のしきみを理解する。</li> <li>諸事を総合的に考えて、収穫の適期を判断できる。</li> <li>スイートコーンの栽培プロジェクトに主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○
9 10 11	花壇用草花の栽培と利用 1 秋まき1年草の栽培(育苗) 2 パンジーの栽培 3 ハボタンの栽培 4 草花の美しさとデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋まき1年草の種類を知る。</li> <li>秋まき1年草の育苗と栽培が適切にできる。</li> <li>パンジーやハボタンの栽培に主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> <li>雑草が草花の生育に及ぼす影響について理解する。</li> <li>病害虫の種類がわかり防除ができる。</li> <li>草花がもつ美しさの要素を理解する。</li> <li>草花の美しさの要素を引き出し、寄せ植えやアレンジメントとして装飾に利用できる。</li> <li>寄せ植えや、アレンジメントに主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○	○	○
1 2 3	作物をとりまく環境とその管理 1 作物栽培と環境 2 作物の生育と大気環境 3 作物の生育を支える土 4 作物の養分と肥料 5 作物をとりまく生物	<ul style="list-style-type: none"> <li>作物の生育と大気環境について理解するとともに、関連する技術を身につけている。</li> <li>作物の生育と大気環境に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決している。</li> <li>作物の生育と大気環境について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> <li>作物の生育を支える土と肥料について理解するとともに、関連する技術を身につけている。</li> <li>作物の生育を支える土と肥料に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決している。</li> <li>作物の生育を支える土と肥料について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> <li>作物をとりまく生物について理解するとともに、関連する技術を身につけている。</li> <li>作物をとりまく生物に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決している。</li> <li>作物をとりまく生物について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○

教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
農業	課題研究	農業科学	1	1	なし	丙種危険物取扱者受験教科書 乙4類危険物取扱者受験教科書

<b>学習の到達目標</b>	<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として農業機械の運転や食品加工に必要な引火性液体の取扱いについて必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 農業の各分野で取扱う危険物について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 農業技術に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
----------------	---

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
農業の各分野で取扱う危険物について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。	農業技術に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。
定期考査、確認テスト、観察など	定期考査、確認テスト、観察 など	授業態度、提出物の内容

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主		
4 5 6	危険物取扱者丙種の資格 1 燃焼及び消火に関する基礎知識 (1) 燃焼の基礎知識 (2) 消火の基礎知識  2 危険物の性質、並びにその火災予防及び消火の方法 (1) 丙種危険物取扱者の取り扱うことのできる危険物に共通する性質 (2) 主な危険物の性質と危険性  3 危険物に関する法令 (1) 消防法 (2) 危険物の規制に関する政令 (3) 危険物の規制に関する規則 4 資格試験の受験	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃焼の基礎知識として燃焼の化学的な性質を知る。</li> <li>燃焼の3要素を含む燃焼としての一定の法則を知る。</li> <li>消火についての方法を3種類知る。</li> <li>消火と燃焼の化学的な法則を理解している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>丙種危険物取扱者が扱える第4類危険物の性質について知る。</li> <li>蒸発性液体の特性を知る。</li> <li>自然発火の原因を理解している。</li> <li>第1石油類～動植物油類までの性質的な分類を理解している。</li> <li>危険物の化学的な法則について理解している。</li> <li>第4類危険物の日常生活における危険性を判断することができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防法について知る。</li> <li>危険物の政令について知る。</li> <li>危険物の規制について知る。</li> <li>危険物取扱者の免許に関することを理解している。</li> <li>危険物の取り扱いに関する政令・規制・規則について理解している。</li> <li>結果を知り、計画の取組について自己評価を行うことができる。</li> </ul>	○ ○ ○ ○				
	7 8 11	危険物取扱者乙種第4類の資格 1 物理学と化学の基礎知識 (1) 基礎的な物理学及び基礎的化学 (2) 燃焼の基礎知識 (3) 消火に関する基礎知識  2 危険物の性質並びにその消火予防および消火の方法 (1) 第4類危険物以外の危険物の概論 (2) 第4類危険物の概論  3 危険物に関する法令 (1) 消防法 (2) 危険物の規制に関する政令 (3) 危険物の規制に関する規則 4 資格試験の受験 3 危険物に関する法令	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱とその特性について知る。</li> <li>物質の三態と状態変化について理解している。</li> <li>物質の成り立ちについて理解している。</li> <li>物質の変化について理解している。</li> <li>有機化合物について知る。</li> <li>化学の基礎用語について理解している。</li> <li>燃焼の基礎知識について理解している。</li> <li>消火に関する基礎知識について理解している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1類～第6類危険物について知る。</li> <li>各類の主な特徴を比較することができる。</li> <li>第4類危険物について知り、その性質をまとめることができる。</li> <li>火災の予防と貯蔵、取扱いおよび消火の方法について理解している。</li> <li>第4類危険物の主な品目とその資質を知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防法について知る。</li> <li>危険物の政令について知る。</li> <li>危険物の規制について知る。</li> <li>危険物取扱者の免許に関することを理解している。</li> <li>危険物の取り扱いに関する政令・規制・規則について理解している。</li> <li>結果を知り、計画の取組について自己評価を行うことができる。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○		
		1 2 3	危険物取扱者各種の資格 1 受験種類の設定 2 資格試験の受験 3 結果と自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得状況に応じて、受験する危険物取扱者の種別、類を設定、計画することができる。</li> <li>計画に沿った資格取得の学習ができる。</li> <li>結果を知り、計画の取組について自己評価を行うことができる。</li> <li>年間の取り組みについて自己評価を行うことができる。</li> </ul>		○ ○	○ ○

教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
農業	課題研究	農業科学科	2	2	なし	危険物取扱者受験教科書 日本農業技術検定3級問題集

<b>学習の到達目標</b>	<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として農業機械の運転や食品加工に必要な引火性液体の取扱いについて必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 農業の各分野で取扱う危険物について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 農業技術に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
----------------	---

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
農業の各分野で取扱う危険物について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。	農業技術に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。
定期考査、確認テスト、観察など	定期考査、確認テスト、観察 など	授業態度、提出物の内容

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
4	I オrientation 1. 学習計画	・年間の学習計画を知る。	○		
5 6 7	II 危険物取扱者資格 1. 目標の設定 2. 受験願書の記入・提出 3. 学習計画の立案 4. 資格取得に向けた取り組み 5. 検定結果の自己評価と目標設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丙種、乙種第4類、乙種第4類以外の類の中から、各自の資格取得の受験種目を決定する。</li> <li>・各自の受験種目の願書を記入する。受験料を添えて、願書を提出する。</li> <li>・試験日までの日程を知り、内容の難易度を考えて、各自の学習計画を立案する。</li> <li>・それぞれのテキストと問題集を利用し、学習計画に基づいて試験合格に向けて取り組む。</li> <li>・難解な箇所は、繰り返し復習して理解を深めるなど、各自の課題解決に向けた工夫をする。</li> <li>・受験（6月下旬）結果を知り、各自の取り組みについて自己評価を行う。また、新たな目標を設定する。</li> </ul>		○	○
9 1 2	III 日本農業技術検定3級 1. 受験種目の決定 2. 検定内容の理解 3. 受験に向けた取り組み 4. 検定結果の自己評価と目標設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の学習を振り返り、自分に適切な受験種目の決定をする。〔日本農業技術検定協会主催。1学年で習得した知識を基礎とするため、受験種目として「栽培系」が望ましい。〕</li> <li>・テキストを利用して、検定の内容と程度を理解する。</li> <li>・検定模擬問題に取り組む中で、1学年の「農業と環境」の学習内容の復習に合わせて、2学年の「野菜」「草花」「食品製造」「農業経済」など専門科目の学習内容の理解を深化させる。</li> <li>・受験(12月中旬、3級検定は筆記試験のみ)結果を知り、各自の取り組みについて自己評価を行う。また、新たな目標を設定する。</li> </ul>	○	○	○
1 2 3	IV 生物工学技術検定「中級位」 1. 検定内容の理解 2. 実技試験に向けた取り組み 3. 実技試験の受験 4. 筆記試験に向けた取り組み 5. 検定結果と自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定〔富山県農業技術検定委員会主催(実技試験と筆記試験)〕の内容と流れなど概要を理解する。</li> <li>・2学年の「植物バイオテクノロジー」で学習した『紫蘭の無菌は種』の無菌操作技術に習熟する。</li> <li>・受験(1月下旬)結果を知り、自己評価し技術の向上に取り組む。</li> <li>・検定問題集などを活用して、2学年の「植物バイオテクノロジー」の学習内容の理解を深める。</li> <li>・受験(2月上旬)結果を知り、年間の取り組みについて自己評価を行う。</li> </ul>	○	○	○